

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	－	－	－
	やや良く なっている	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・販売点数は増加していないものの、来客数は前年比プラスになってきており、徐々に回復がみられる。
		スーパー（店長）	競争相手の様子	・競争先の中には、安く売らなくても売れる商品に力を入れて販売する傾向も見受けられる。少しずつではあるが、こうした商品が売れてきているのであろう。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数、客単価共に前年比プラスである。現業系男性客の増加が目立つ。買上点数も多く、購買に勢いがある。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・地上デジタル放送需要の反動で最も落ち込んだ2～3か月前と比較すると、単価下落こそあるものの、来客数は前年並みに戻ってきている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・最需要期の年度末を控えて、エコカー補助金の復活などもあり新車販売が良くなっている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売量は、東日本大震災やタイの洪水被害の影響が薄らぎ、決算期需要もあって増加している。
		乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・エコカー補助金の復活やエコカー減税延長により、新車種の小型ハイブリッド車の受注が増加している。
		設計事務所（所長）	販売量の動き	・来年度建築予定の公共施設関連の設計が、非常に増えている。
		設計事務所（職員）	販売量の動き	・第三次補正予算の執行により、昨年末から公共事業の受注額が増加している。今年度売上額を前年並みと見込む業者が多く、同業他社からも同じ話を聞く。
変わらない	一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・消費者の財布のひもが固く、し好品を節約しているからなのか、あるいは最も安い価格で販売する店を選んで購入しているのか、小売店は厳しい。	
	百貨店（営業担当）	それ以外	・来客数及び売上高共に前年を下回った。婦人靴、子供用品、リビング、美術品等は好調に推移したが、宝飾品及び高級ブランド商品群は苦戦した。	
	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・正月からクリアランスセールが始まったが、まとめ買いが少なく客単価も低い。再値下げでも、繊維・非繊維共に動きが悪い。一方で、物産展の効果などで食品、特にスイーツ系等に限っては好調である。	
	スーパー（店長）	単価の動き	・食品売上は増加しているが、寒さが厳しいなど季節要因によるもので、景気自体が良くなっているとは言いがたい。	
	スーパー（企画担当）	お客様の様子	・来客数は、競合店の出店の影響等から前年比を下回り回復していない。価格を下げると客数はやや戻るものの、値下げ分のカバーができず、売上高の回復にはつながらない。	
	スーパー（財務担当）	来客数の動き	・12月と1月の売上は前年並みとなり、大きな変化はない。	
	スーパー（企画・営業担当）	販売量の動き	・年末年始は好調に推移したが、その後は反動から、衣料品など生活必需品以外の苦戦が続く。	
	衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・1月の売上は、セールにもかかわらず前年を若干下回っている。前年と比べて重衣料の動きが鈍く、客単価が下がっている。	
	家電量販店（営業担当）	お客様の様子	・来客数減少が続いている。季節商材は価格重視で販売単価も上昇しない。新築時買い替えによる購入数も以前の半分以下に抑えられている。省エネ効果があって手頃な価格の商品を選ぶ客が多く、商品情報にも詳しい。	
	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・各社とも初売りフェアで盛り上がったが、1月中旬以降の受注状況は低迷している。しかし、エコカー補助金の効果が少しずつ表れてきている。	
	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・各社から携帯電話パケット料金の割引施策が発表された。スマートフォンは多少動きがあるが、さほど大きくなく、これからの春商戦に期待したい。	
	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・1月の来場者数は、前年を上回る水準で推移しているが、全体的にはさほど変化がない。	
やや悪く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・正月の初売りや冬物クリアランスセールの初期では来街客が多く、お買上袋を持った姿も多くみられた。しかし中盤以降は各店とも、平日土日にかかわらず客の入りは悪くなっている。	
	商店街（代表者）	競争相手の様子	・既存商業施設の状況が好転しない。また、昨年暮れにオープンした徳島の大型ショッピングセンターの効果も小さく、郊外型量販店の限界を感じる。	

	商店街（代表者）	来客数の動き	・昨年末に岡山倉敷にオープンしたアウトレットモールや、徳島にオープンした商業施設の影響を受けている。	
	商店街（代表者）	販売量の動き	・平日の顧客動向が以前より悪くなっている。	
	一般小売店〔生花〕（経営者）	それ以外	・仕入元である市場の入荷量が、前年に比べ減少しており価格の上昇につながっている。特に高価な商品は、予約をしなければ入荷も困難な状況であった。	
	一般小売店〔菓子〕（総務担当）	来客数の動き	・全体的に停滞傾向である。年末年始の大きなイベントも終わり、目新しさが不足している。	
	スーパー（店長）	販売量の動き	・野菜相場の高騰により、野菜の買上点数が減少している。他の食品についても、買い控え傾向がみられる。	
	コンビニ（総務）	来客数の動き	・天候や気温にも左右されるが、来客数が徐々に悪くなってきている。	
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・昨年11月にオープンした徳島の大型ショッピングセンターの影響により、現在も客数、販売量共に減少している。	
	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・例年通りに販促等を行っているものの、客の来店頻度は減少しており、販売は減少している。	
	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・1月は正月以外、宿泊観光客が少ない。ただ、地元の病院や大学の学会など会合による売上はまずまず維持している。	
	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・正月明けで宿泊、レストラン共に来客数が減り、単価も下落している。	
	旅行代理店（支店長）	販売量の動き	・年が明けてから近場の旅行申込が多く、個人旅行の売上が前年に比べ減少している。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・1月は例年客が少ないが、特に今年は顕著である。夜、飲みに出ている人も少なく、乗車があっても近距離が多くて売上は増加しない。	
	通信会社（企画）	お客様の様子	・高額な商品はもちろん、最近では標準的な価格帯の商品も厳しくなっている。	
	競艇場（職員）	販売量の動き	・1月の売上は正月レース開催があったことから、3か月前比で9%増となった。しかし、前月比4%減、前年比17%減であることや、例年は3か月前比で15～25%程度増加するので、やや物足りない。	
	美容室（経営者）	お客様の様子	・景気の悪い話が多い。	
	悪くなっている	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・コミックの売上が大きく落ち込んでいる。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・客単価は前年同月比で増加しているものの、来客数の落ち込みが著しい。
企業動向関連	良くなっている	—	—	—
	やや良くなっている	通信業（部長）	取引先の様子	・販売は改善がみられるものの、依然、競合他社との提案競争が激しく、苦しい状況である。
		金融業（融資担当）	それ以外	・前年と比べ、不動産売買が活発になってきた。不動産関連の新聞広告チラシも増加している。
	変わらない	農林水産業（総務担当）	取引先の様子	・一部商品によっては供給減で引き合いが強まっているが、末端需要の高まりとは感じられない。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・円高の影響はあるものの、東日本大震災関連の需要が徐々に始まっており、受注は順調に推移している。
		電気機械器具製造業（経理担当）	受注価格や販売価格の動き	・欧州市場の冷え込みや北米市場の停滞の影響により、価格引下げの要請がある。
		輸送業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・販売額はやや上向いてきたが、単価の下落が激しい。
		公認会計士	取引先の様子	・クライアントの3割は、売上が前年比増加しているが、4割は減少している。この状況は3か月前と大きな変化はなく、横ばいが続いている。
	やや悪くなっている	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・1月は前年比をクリアできたものの、これまでの勢いに陰りがみられる。特に年明け以降、消費マインドの低下や客足が減少しているとの理由で、小売店からの発注がやや減少している。
		木材木製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・欧州の信用不安、中国の不動産価格暴落や、全国的な寒波で、暗いムードになっている。また、原材料、特に天然素材が値上がりしており、製品価格に影響を及ぼしている。

	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・1月の受注量は、季節要因を勘案しても非常に悪い。	
	鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・受注量が減少傾向にある。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・電子機械、電気機械、電子材料関連メーカーからの受注中止が相次いでいる。ユーロ安、円高が影響していると考える。	
	建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・マンションの老朽化が進み、管理組合から大規模修繕工事の見積依頼が増えてきている。しかし、手持ち資金が不十分で見積が合わず、成約には至っていない。	
	輸送業（営業）	受注価格や販売価格の動き	・民間企業から引っ越し業務を受託している。一部の企業から値下げ要請があり、採算割れとなるが従わなければ指定業者から除外すると言われ、参入他社と足並みを揃えざるを得ない状況となった。引っ越し業務は、運賃個別設定が通常であるが、優位な立場を利用した一律条件での要求が増加している。	
	悪く なっている	輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・荷主の生産調整並びに公共投資削減に加え、同業他社のダンピングや燃料コスト上昇などから厳しい。
雇用 関連	良くなっている	—	—	
	やや良くなっている	求人情報誌（営業）	求人数の動き	・求人状況、特に新卒採用において、前年比で改善傾向にある。ただ、新卒学生の動き出しが当初の予想よりも鈍い。
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・求人数などは増えているが、求職者のミスマッチも多く、現状維持である。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・カーディーラーが回復すると予想していたが、エコカー補助金の国会での可決までは各社ともに慎重である。
		職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・求人数が増加しているにもかかわらず、就職者数は増加していない。求人の内容が臨時等の不安定雇用であり、正社員の雇用が少ないためである。
	やや悪くなっている	職業安定所（職員）	採用者数の動き	・求人のうち非正規労働者の占める割合が増加しており、就職者数の減少が続いている。
		民間職業紹介機関（所長）	採用者数の動き	・ハローワークを有効活用し、採用経費を抑制する企業が増えてきている。良い人材が無ければ、無理な採用は不要とする企業が多い。
	悪く なっている	—	—	—